



～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

なわとび大会 がんばりました

本日1月28日（火）に行いました「なわとび大会」。
寒い中、しかも、暖房の効かない体育館での実施でしたが、たくさんのご参観、ありがとうございました。

子供たちは、数日前から「もうすぐなわとび大会！」「二重とびに出る！」などと、やる気満々でした。体育の時間はもちろん、朝登校してくると、校門のところにたくさんの子供たちが集まり、なわとびの練習に励んでいました。

さて、このなわとび大会ですが、前半が個人種目、後半は団体種目で、縦割り班の赤白に別れて競い合いました。

それぞれ、相手と競い合うことはもちろん、今までの自分たちの記録を更新するという目標をもっていました。

また、競技中は、「がんばれ！」「ドンマイ！」など、仲間を思う声がたくさん聞こえました。

目標をもって取り組むこと、そして、お互いが伸びるようなプラスの声掛けというのはとても大切なことだなと感じました。

寒い体育館でしたが、熱く、温かい時間となりました。

いのちの授業 ～中村先生ありがとうございました～

本校の元校長先生だった中村美枝子先生が、6年生に「いのちの授業」をしてくださいました。授業は2時間構成で、1回目は1月16日、そして、今日（1月28日）、2回目の授業が行われました。

1回目の授業では、中学2年生の時、骨肉腫のため命を落とされた猿渡瞳（さるわたりひとみ）さんのお話でした。病気と闘いながら、「命の尊さ」や「本当の幸せ」とは何かについて真剣に向き合い、亡くなる2か月前の弁論大会でたくさんの人に訴えかけていました。

2回目の今日は、かけがえのない命を輝かすことの大切さを教えていただきました。

自分に与えられた命は、たくさんの人に支えられたかけがえのないものであり、それを輝かせるように使うことを学びました。

子供たちはおうちの人から、思いのこもった手紙をもらい、嬉しさと、命を輝かすことへの強い決意をもったようです。

中村先生、ありがとうございました。

